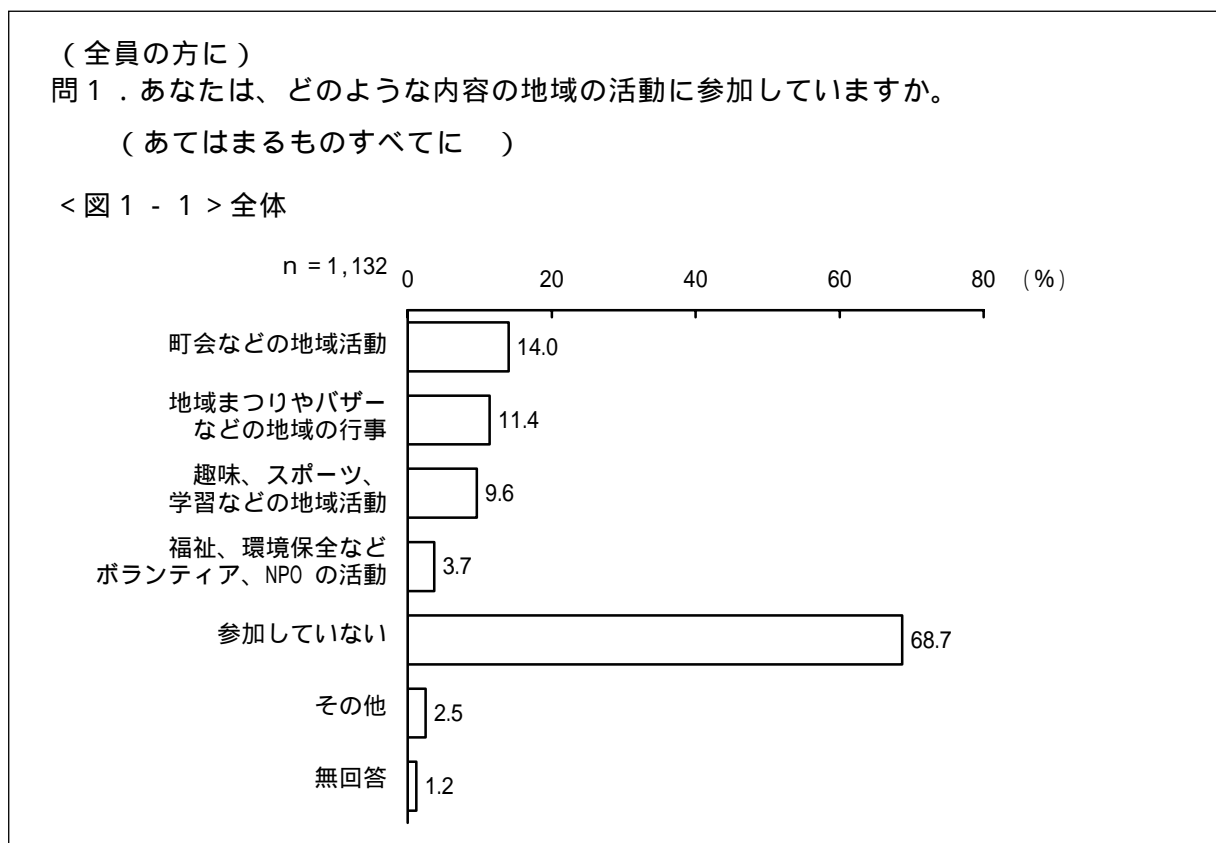


# 調査結果の分析

# 1. 地域活動について

## (1) 地域の活動への参加

7割弱が不参加、参加が最も多いのは町会などの地域活動が1割半



参加している地域活動としては、「町会などの地域活動」(14.0%)が最も多く、以下、「地域まつりやバザーなどの地域の行事」(11.4%)、「趣味、スポーツ、学習などの地域活動」(9.6%)、「福祉、環境保全などボランティア、NPOの活動」(3.7%)の順になっている。一方、「参加していない」と答えた人は68.7%となっている。(図1-1)

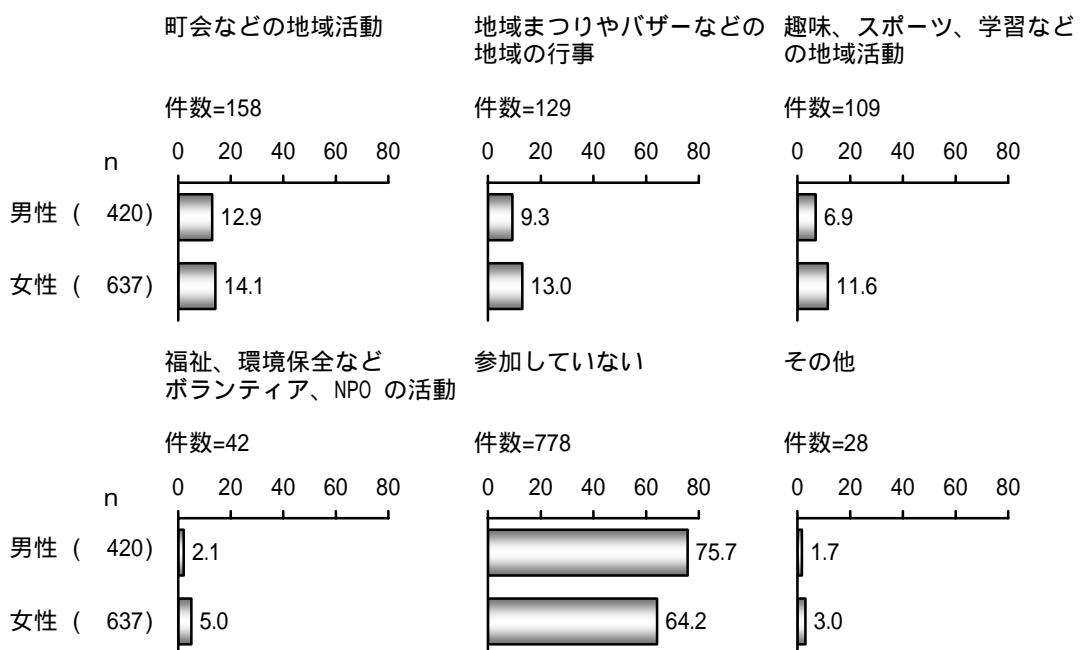
性別に見ると、どの活動においても女性の割合が高くなっており、特に、「趣味、スポーツ、学習などの地域活動」では女性(11.6%)が男性(6.9%)より4.7ポイント高くなっている。一方、「参加していない」と答えた人では男性(75.7%)が女性(64.2%)より11.5ポイント高くなっている。(図1-2)

年齢別に見ると、「町会などの地域活動」と答えた人は60歳代で21.4%と高い。また、「参加していない」と答えた人は20歳代で93.9%と高くなっている。(図1-3)

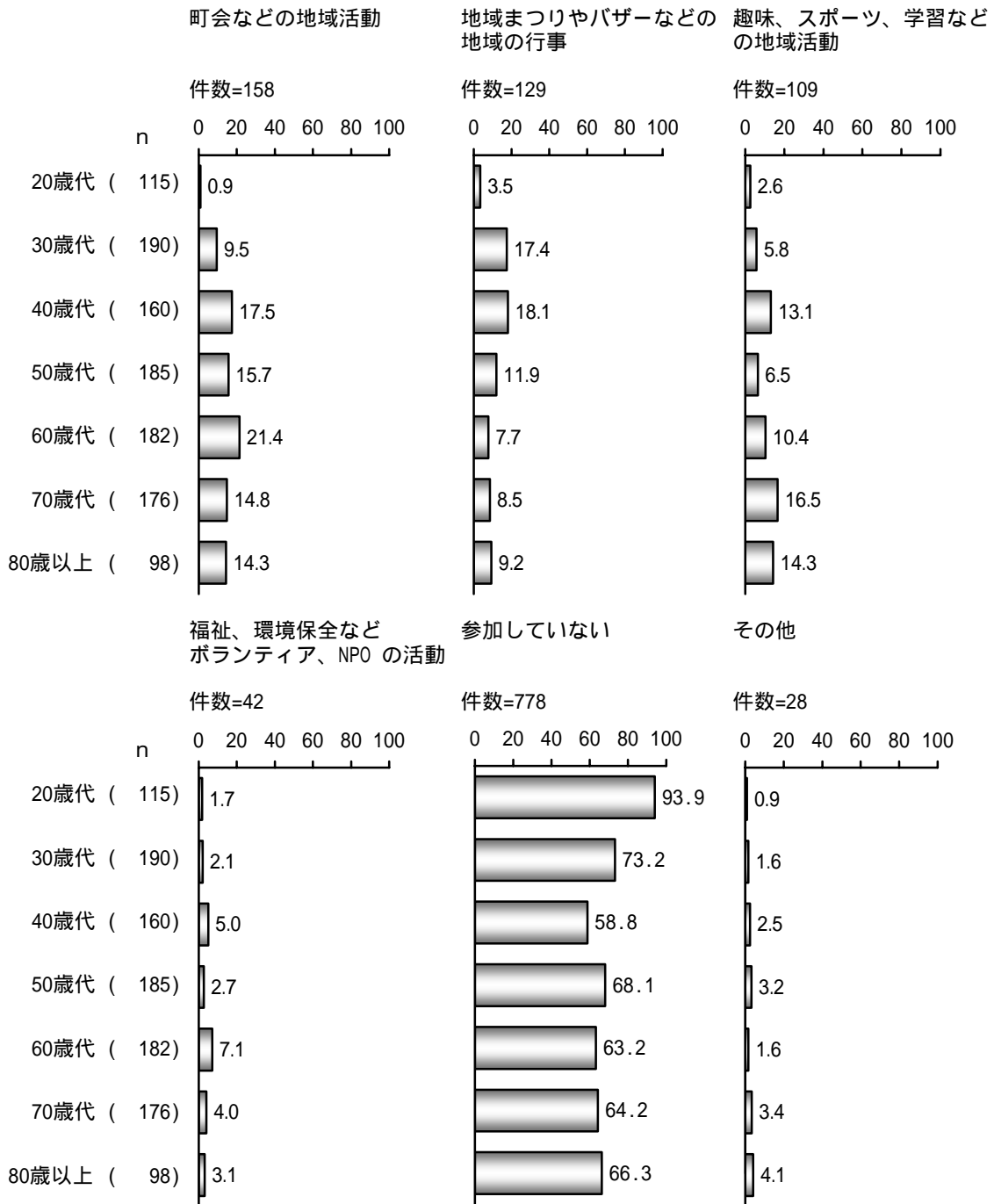
職業別に見ると、「福祉、環境保全などボランティア、NPOの活動」を除いたどの活動においても、家事専業で高くなっている。また、「参加していない」と答えた人は学生、派遣社員で80%以上と高くなっている。(図1-4)

中野区での居住年数別に見ると、「参加していない」と答えた人は1年未満で93.6%と非常に高く、1～4年でも78.8%となっている。(図1-5)

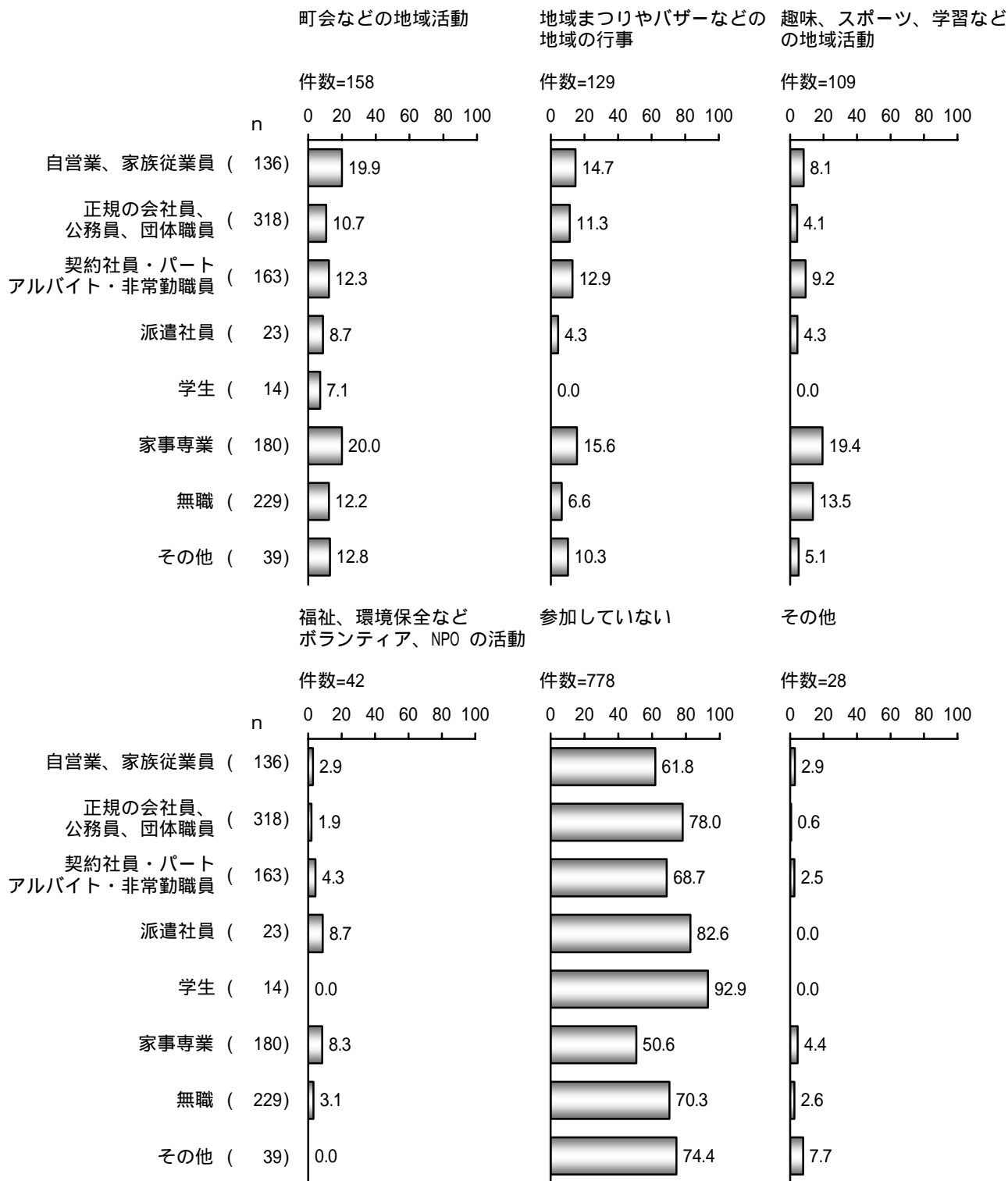
< 図1-2 > 性別



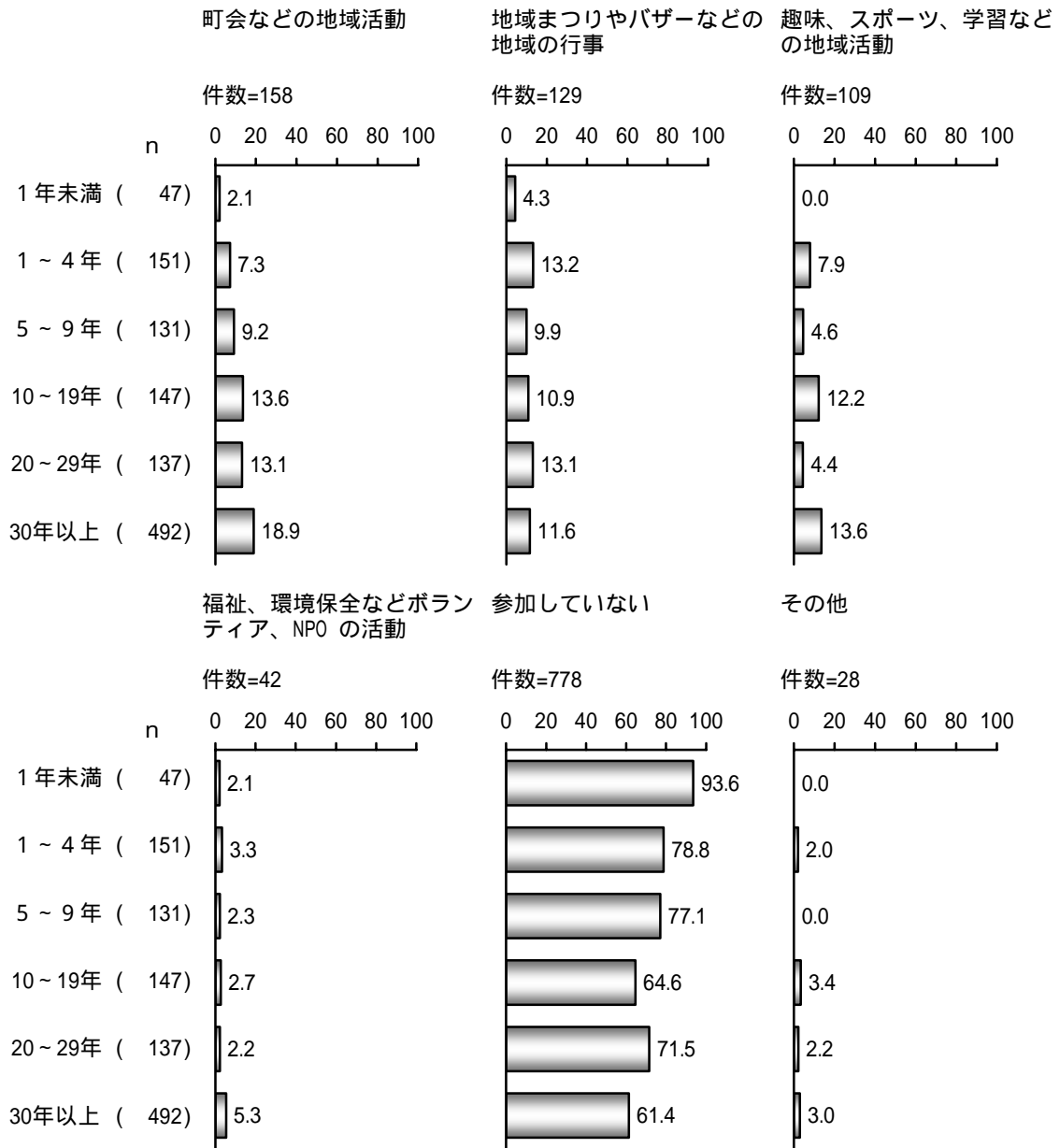
< 図 1 - 3 > 年齢別



< 図 1 - 4 > 職業別



< 図 1 - 5 > 居住年数別



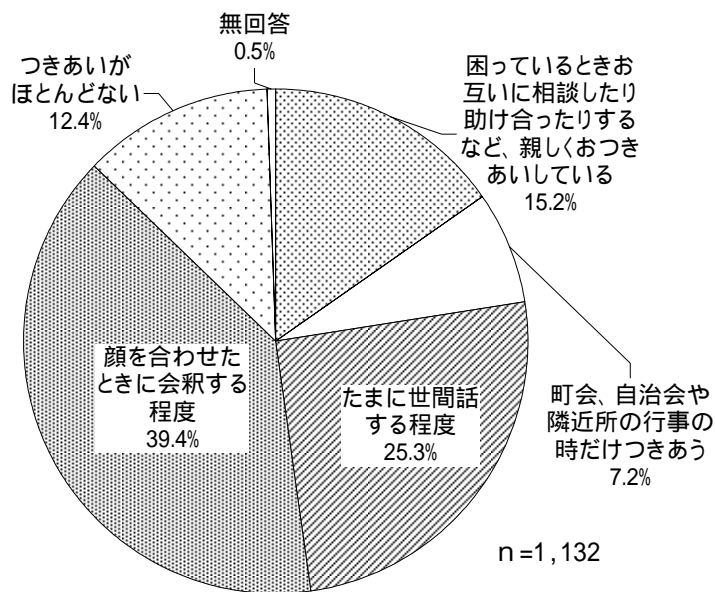
## (2) 近所づきあいの程度

「顔を合わせたときに会釈する程度」が4割、「たまに世間話する程度」が2割半

(全員の方に)

問2. あなたのご近所とのつきあいはどのようなものですか。( は1つ)

< 図1 - 6 > 全体



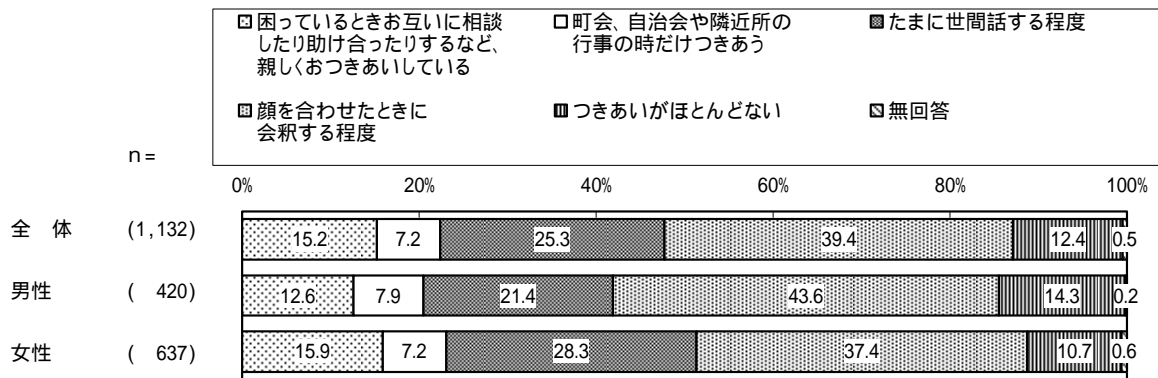
近所づきあいの程度については、「顔を合わせたときに会釈する程度」と答えた人が39.4%で最も多くなっている。以下「たまに世間話する程度」(25.3%)、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている」(15.2%)、「町会、自治会や隣近所の行事の時だけつきあう」(7.2%)となっている。また、「つきあいがほとんどない」と答えた人が12.4%となっている。(図1 - 6)

性別に見ると、男女とも「顔を合わせたときに会釈する程度」が最も高いが、その割合は男性(43.6%)が女性(37.4%)より6.2ポイント高くなっている。女性は「たまに世間話する程度」、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている」といったつきあい方で男性より高くなっている。(図1 - 7)

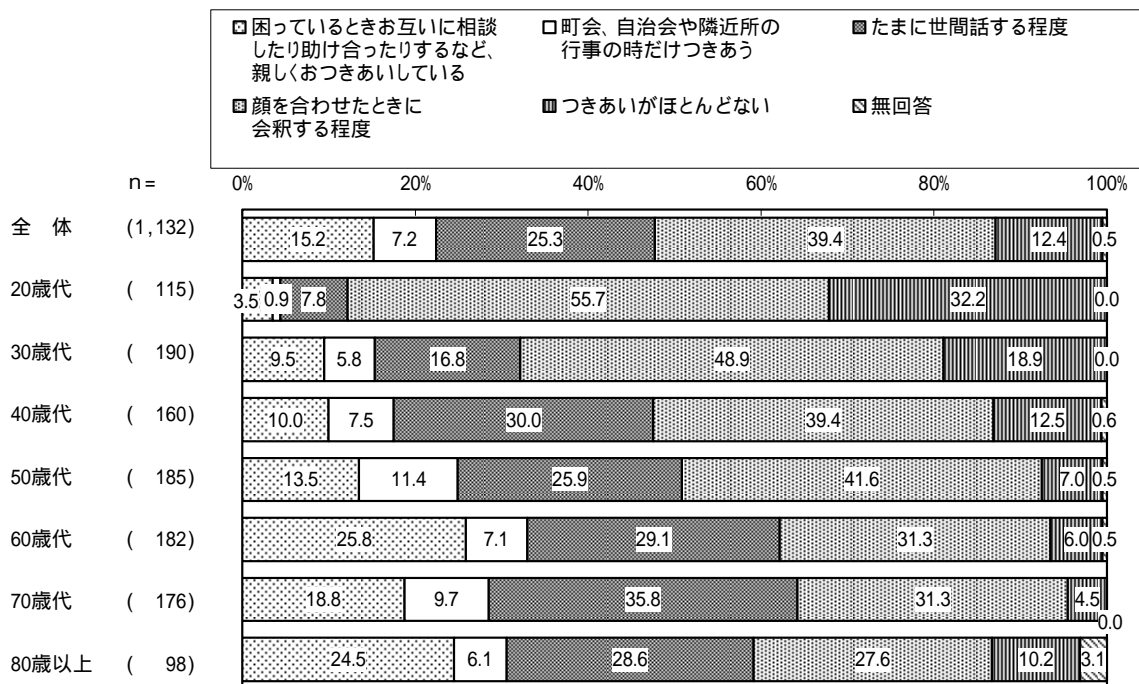
年齢別に見ると、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている」と答えた人は60歳代以上で20%前後、「たまに世間話する程度」を答えた人は40歳代以上で30%前後と高くなっている。「顔を合わせたときに会釈する程度」「つきあいがほとんどない」と答えた人は20～30歳代で、それぞれ高くなっている。(図1-8)

職業別に見ると、「困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている」は自営業、家族従業員と家事専業で20%以上となっている。「たまに世間話する程度」は家事専業で43.9%と最も高くなっている。(図1-9)

< 図1-7 > 性別

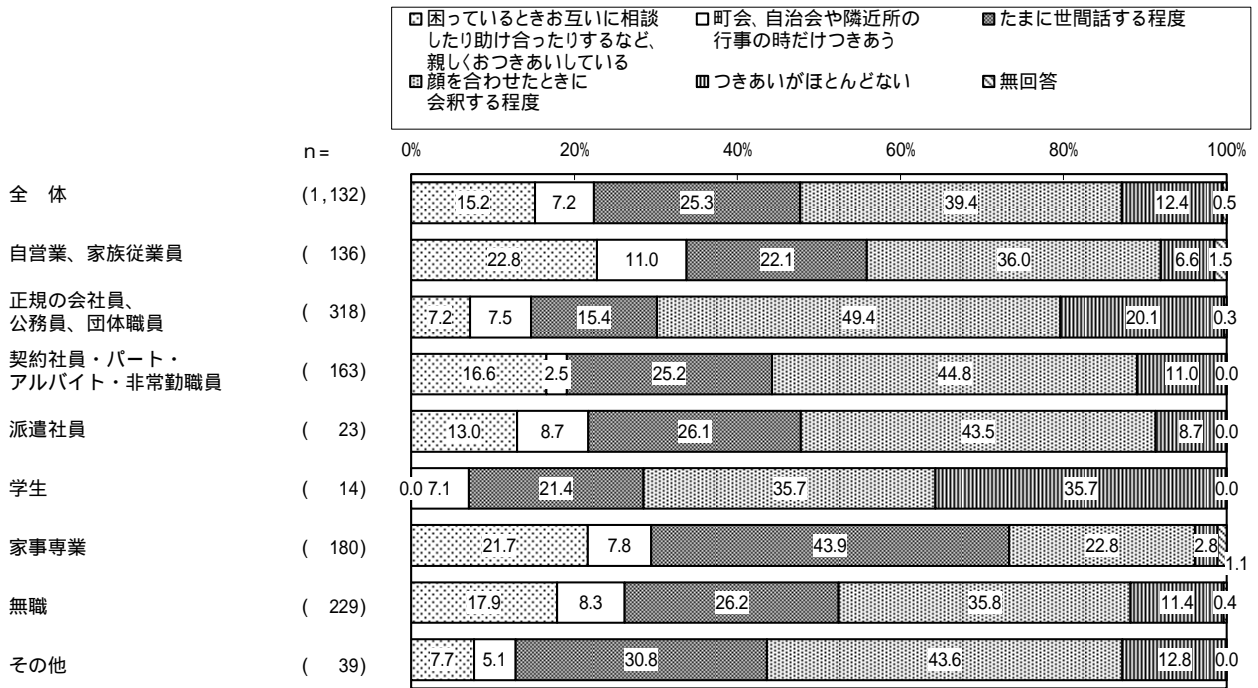


< 図1-8 > 年齢別

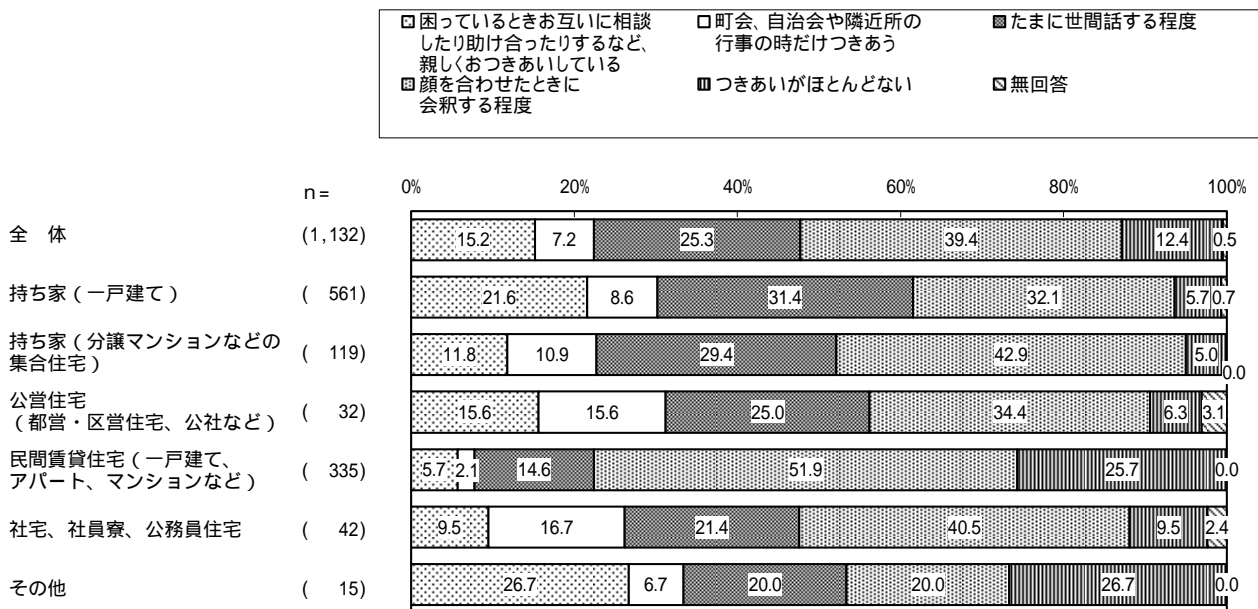




< 図 1 - 9 > 職業別



< 図 1 - 10 > 住居形態別



### (3) 地域住民間の見守りや支えあいの活動状況

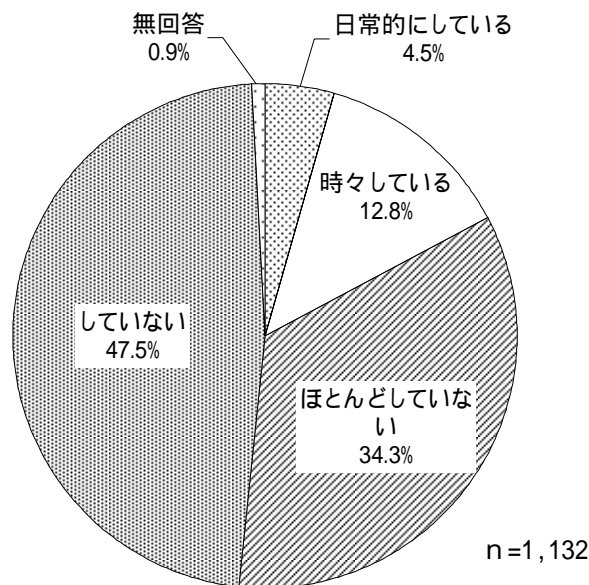
実際に見守りや支えあいの活動をしている人は2割弱

(全員の方に)

問3. あなたは、地域住民間の見守りや支えあいの活動をどの程度していますか。

(あてはまるものすべてに)

<図1-11> 全体



地域住民間の見守りや支えあいの活動を「日常的にしている」と答えた人は4.5%、「時々している」と答えた人は12.8%で、活動している人は2割弱である。一方「ほとんどしていない」と答えた人は34.3%、「していない」と答えた人は47.5%となっている。

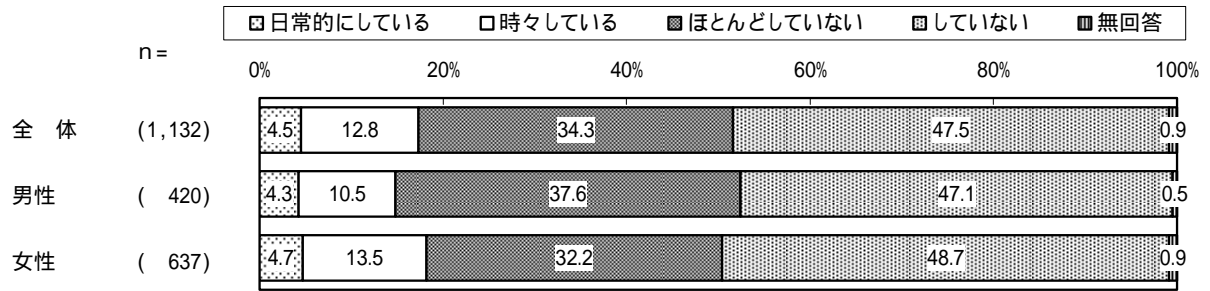
(図1-11)

性別に見ると、「日常的にしている」「時々している」の2つを合わせた割合は、女性(18.2%)が男性(14.8%)より3.4ポイント高くなっている。(図1-12)

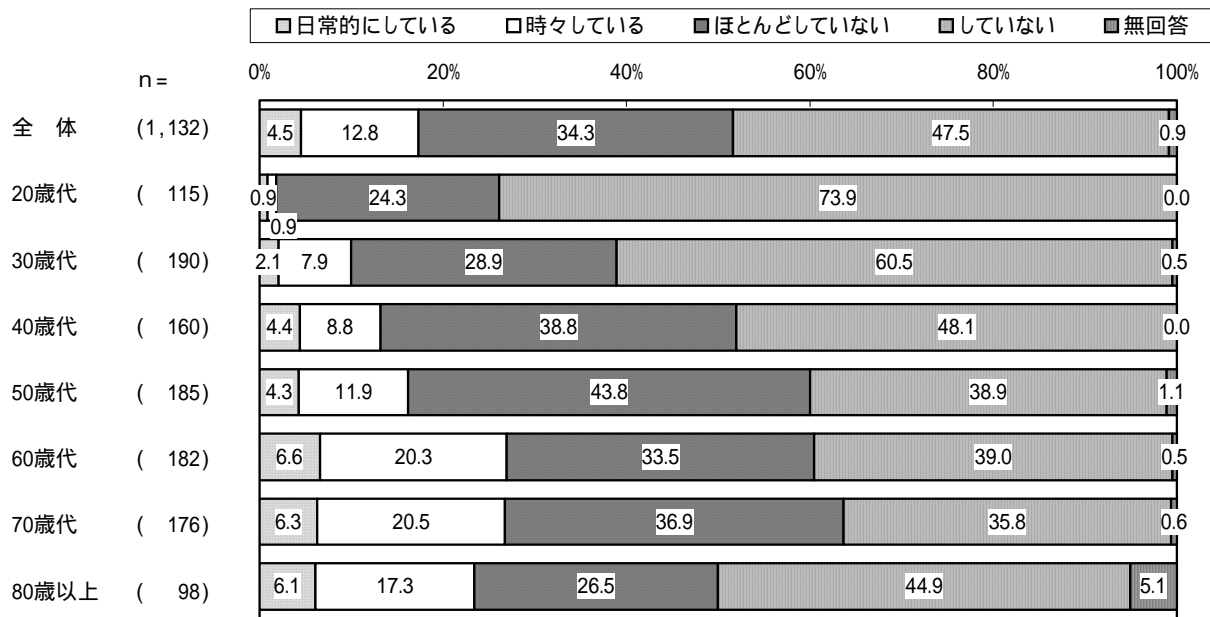
年齢別に見ると、60歳代で「日常的にしている」「時々している」の2つを合わせた割合が高く、活動している人が3割弱となっている。一方、「していない」と答えた人は20歳代で73.9%となっており、「ほとんどしていない」と合わせた活動していない人の割合は9割を超えている。(図1-13)

居住年数別に見ると、「日常的にしている」「時々している」は30年以上でそれぞれ最も多くなっている。(図1-14)

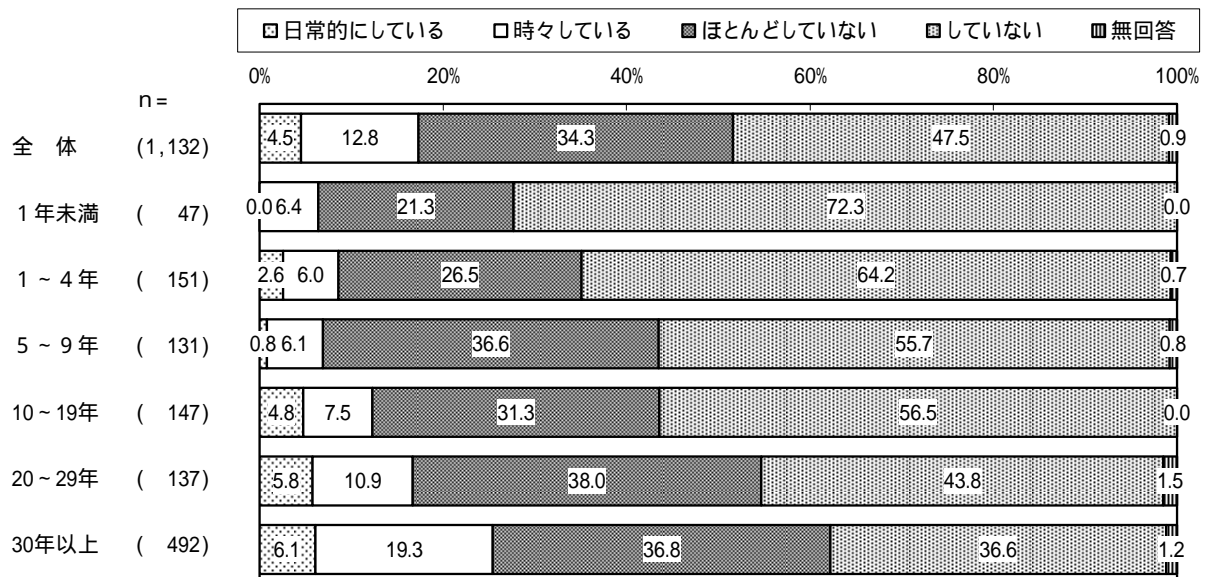
< 図 1 - 12 > 性別



< 図 1 - 13 > 年齢別



< 図 1 - 14 > 居住年数別



#### (4) 地域住民間の見守りや支えあいの活動内容

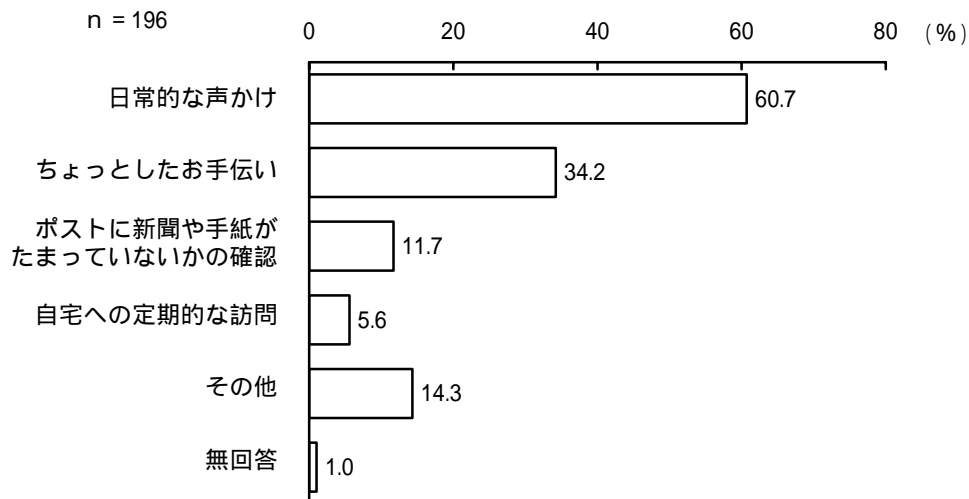
日常的な声かけをしている人は6割

(問3で「1」「2」に をつけた方に)

問4. 具体的にどのような地域住民間の見守りや支えあいの活動をしていますか。

(あてはまるものすべてに )

<図1-15> 全体



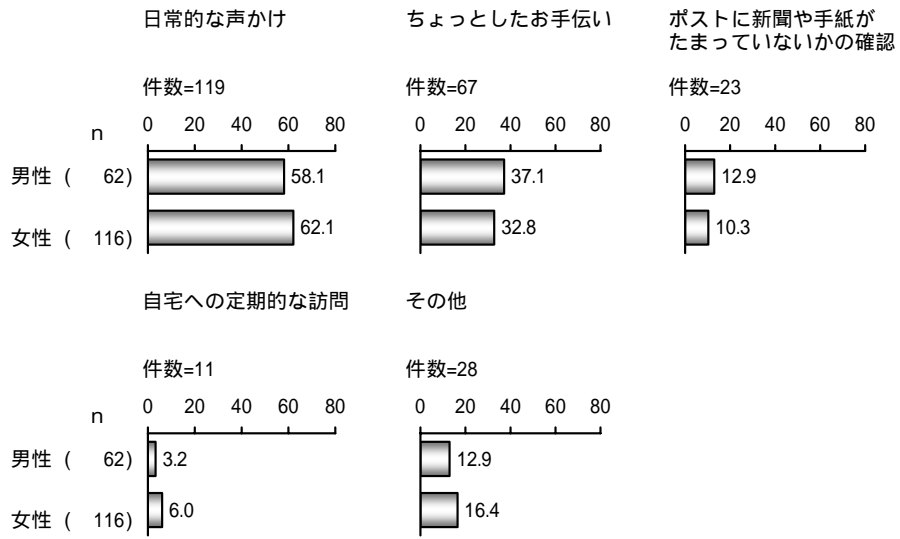
地域住民間の見守りや支えあいの活動内容については、「日常的な声かけ」(60.7%)が最も多く、以下、「ちょっとしたお手伝い」(34.2%)、「ポストに新聞や手紙がたまっていないかの確認」(11.7%)、「自宅への定期的な訪問」(5.6%)となっている。(図1-15)

性別に見ると、男女とも「日常的な声かけ」が最も高いが、その割合は女性(62.1%)が男性(58.1%)より4.0ポイント高くなっている。(図1-16)

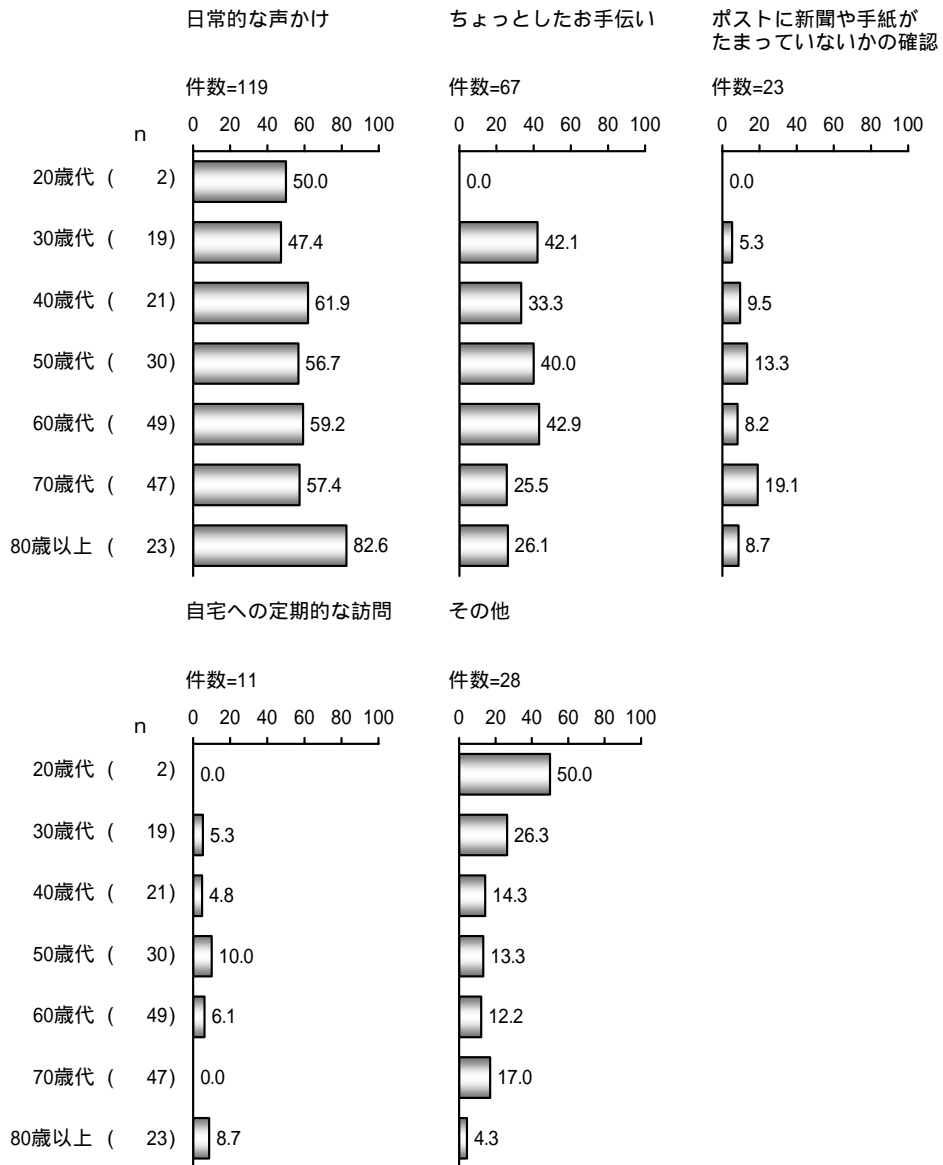
年齢別に見ると、「日常的な声かけ」と答えた人は80歳以上で8割を超え高くなっている。(図1-17)

住居形態別に見ると、「日常的な声かけ」と答えた人が持ち家(一戸建て)の人で6割半、民間賃貸住宅(一戸建てアパート、マンションなど)の人でも半数と高い。(図1-18)

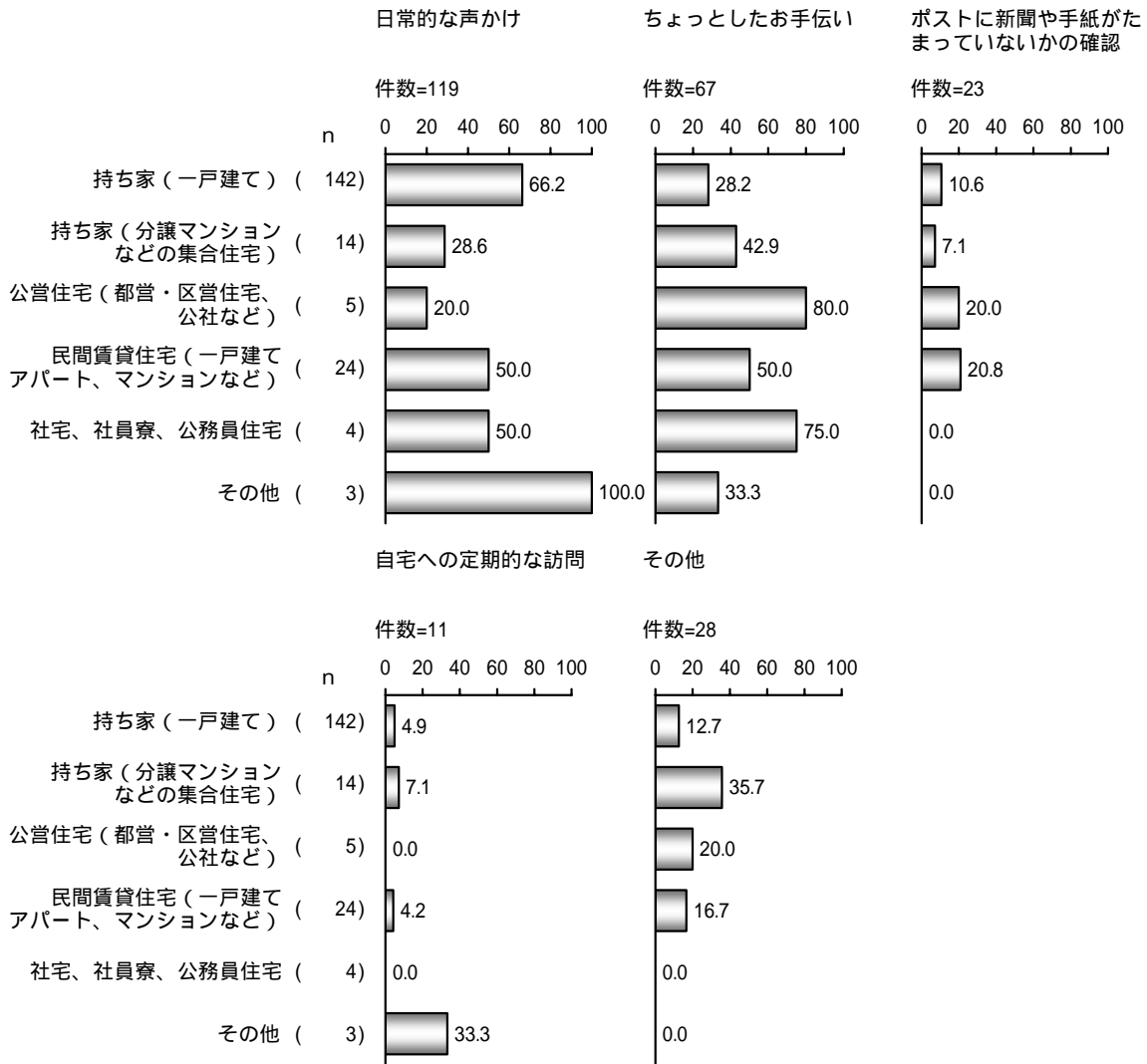
< 図 1 - 16 > 性別



< 図 1 - 17 > 年齢別



< 図 1 - 18 > 住居形態別



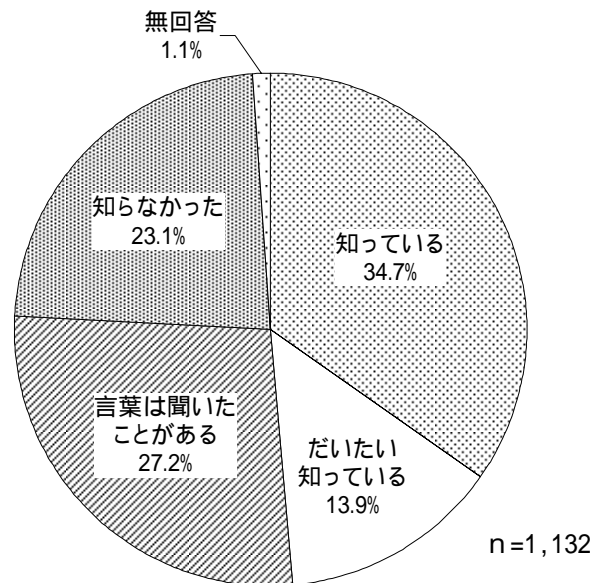
### (5) 民生委員の活動の認識の度合い

「知っている」と「だいたい知っている」を合わせると半数弱

(全員の方に)

問5. 身近な相談相手として、民生委員(児童委員を兼ねます)が地域で活動していることをご存知ですか。( は1つ)

<図1-19> 全体

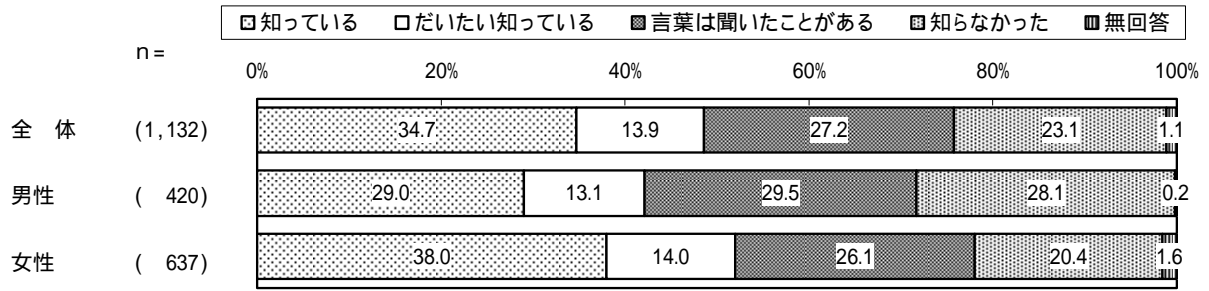


民生委員が地域で活動していることを「知っている」と答えた人は34.7%、「だいたい知っている」と答えた人は13.9%で、この両者を合わせた割合は半数弱である。また、「言葉は聞いたことがある」と答えた人は27.2%、「知らなかった」と答えた人は23.1%となっている。(図1-19)

性別に見ると、「知っている」と答えた人は女性(38.0%)が男性(29.0%)より9.0ポイント高くなっている。一方、「知らなかった」と答えた人では、男性(28.1%)が女性(20.4%)より7.7ポイント高くなっている。(図1-20)

年齢別に見ると、「知っている」と答えた人は年齢が上がるほど高くなる傾向が見られ、60歳以上では約半数となっている。また、「知らなかった」と答えた人は20~30歳代で高く、特に20歳代では、61.7%となっている。(図1-21)

< 図 1 - 20 > 性別



< 図 1 - 21 > 年齢別

